

第1回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2022.8.24）意見概要

議題	No.	委員からの意見	事務局の回答・方針
令和2年度（2020年度）実績報告書	1	地域包括支援センターの機能の強化（P7）のうち、中段の「令和2年度（2020年度）達成状況」に「事業評価を実施」とあるが、その内容は鎌倉市のホームページのどこに公開されているのか。	公開しているページは、下記URLとなります。 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/houkatsu.html ページの下部に、「事業評価について」という項目で、年度ごとの評価内容を掲載しております。
第8期高齢者保健福祉計画	2	介護保険サービス利用者の推計の利用者数の推移が減っているが、給付が増えている中で減っていることに違和感があるため、数値を確認してほしい。	令和2年度の計画策定時の資料を確認したところ、令和5年度の推計値は本数値となっていました。
令和3年度（2021年度）実績報告書	3	実績報告書のホームページへの掲載は全文版に加えて、概略版の掲載も検討してほしい。	ご意見を踏まえ、実績報告書の概要版を作成しました。
令和3年度（2021年度）実績報告書	4	主要施策の進捗状況で各施策の実績が示されているが、それぞれどのように評価しているかが分からない。目標や計画に対しての進捗や今後どのように進めるのかがわかると良い。	ご意見を踏まえ、各施策の実績に対する4段階での評価を追加しました。また、今後の事業の方向性を示す項目を追加しました。
令和3年度（2021年度）実績報告書	5	取り組んだ結果のみの報告が多く、取り組んだ結果課題があったのか、その課題はどんなものだったのか知りたい。もし課題が生じたら、その課題を踏まえて次年度（令和4年度）の取り組みに反映するような手順になるのではないかと。	各施策の実績に対する評価及び今後の事業の方向性を示す項目を追加しました。課題の記載については、次年度以降の検討課題とさせていただきます。
令和3年度（2021年度）実績報告書	6	定性的な評価にならざるを得ない事業もあると思うが、具体的・客観的な記述が必要であり、その課題が次期計画の出発点になるのではないかと。	評価結果の具体的な記述など、次年度以降の検討課題とさせていただきます。

議題	No.	委員からの意見	事務局の回答・方針
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	7	計画の進行管理のPDCAサイクルのDまでの記述が中心となっているが、もう少しCとAに比重をかけて記述すると市民の理解も進むように思う。	評価結果の具体的な記述など、次年度以降の検討課題とさせていただきます。
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	8	現状・課題・それに対する実施の計画という手順にまとめるとよい。	次年度以降の検討課題とさせていただきます。
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	9	実績報告書の「6 主要施策の推進状況」の中で、「鎌倉市くらし見守りネットワークを構築」、「チームオレンジの仕組みの構築」などの記述があるが、これらが具体的に何を指すのか、簡単でよいので説明を追記していただきたい。	「鎌倉市くらし見守りネットワーク」は、実績報告書の「主要施策3-1 安心して暮らせる生活環境の確保（4）消費生活相談の充実 3くらし見守りネットワークの構築」の主な取組に記載があるとおり、「市内事業者、関係行政機関及び福祉の関係団体等との連絡協力体制」のことを指しています。 「チームオレンジの仕組みの構築」の説明については該当箇所に注釈を記載しました。
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	10	計画推進のための指標（P44-45）について、評価指標は誰が、いつ、どのように決めたのか。また、その会議録は閲覧できるのか。評価指標の見直しは行われないのか。	評価指標は、事務局案を提示したうえで鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会にて決定されました。コロナ禍で書面開催となった回もあり、申し訳ありませんが、当時の議事録は公表できておりません。また現行の計画における評価指標の見直しを行う予定はありませんが、次期計画における指標について今後ご意見をいただきたいと考えております。
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	11	コロナ禍により医療・介護の現場は大きな影響を受け、現場の方々はいへんご苦労されたと聞いている。パンデミックにおける医療・介護にかかわる問題点や課題も多くあったものと推定されるが、実績報告書(案)には、これらに関することはほとんど記載されていない。第9期の鎌倉市高齢者保健福祉計画をこれから立案するにあたって、今回の実績報告書に問題点や課題をまとめておくことが必要ではないか。	課題の記載については、次年度以降の検討課題とさせていただきます。
令和3年度 (2021年度) 実績報告書	12	「介護人材の不足」や「ヤングケアラー問題」など、新しい課題はないのか。	介護人材不足は全国的な問題となっており、国の社会保障審議会介護保険部会でも継続的な審議事項となっています。鎌倉市も同様に介護人材不足を課題としているところです。また、鎌倉市では現在（仮称）鎌倉市ケアラー支援条例の策定に取り組んでおり、第9期の計画の基礎となるアンケートでケアラーの実態を把握するための質問を設定する予定です。

議題	No.	委員からの意見	事務局の回答・方針
高齢者保健福祉計画策定に係るアンケート	13	これから次期3年間の計画づくりに先立ってアンケート調査を行うことになっているが、現状がどうなのかが、よくわかっていない。設問数に限度があると思うが、できるだけ問題の本質が明らかになるような設問づくりに参加したい。	設問に関して、率直なご意見をいただけますと幸いです。
委員会運営	14	委員会の運営について、資料を読み上げる時間をもたないで、事前に各委員に読み込んでいただくことが必要。市の方で強調したいものは、事前に動画配信しておけばなお良いと思う。アンケート配布の内容検討であれば、配布されるアンケートが手元にあると議論が深まると感じた。	ご指摘のとおり、第1回委員会は報告事項が中心で、事務局の説明に終始してしまいました。資料配付も事前に行えず申し訳ありませんでした。委員の皆様の議論の場となるよう、運営について改善してまいります。
委員会運営	15	説明に時間が多くとられ、質問したいと思う箇所を確認する間もなく委員会が終了してしまった。事前に資料を送付してもらえれば質問したい箇所をあらかじめ確認できたと思う。	ご指摘のとおり、第1回委員会は報告事項が中心で、事務局の説明に終始してしまいました。資料配付も事前に行えず申し訳ありませんでした。委員の皆様の議論の場となるよう、運営について改善してまいります。